

2016 年度後期 学生による授業評価アンケートの結果 報告書

2017.03.27.

教育情報分析室

本報告の目的は、2016 年後期の原則全授業について行った授業評価の結果を集計・整理することによって、教育の質の向上や授業改善に活用する情報を得ることです。詳しくは「授業評価による教育の質の向上と授業改善の方針」をご覧ください。

I 共通評価項目の集計および整理の仕方について

東北福祉大学授業評価等実施要項第 8 項第 2,3 号によれば、

2 基幹的科目は、原則として、次の各号によるものとする。

- (1) 総合基礎課程の基幹的科目については、総合基礎科目の全授業科目を対象とし、リエゾンゼミⅠ、リベラルアーツ(建学の精神に関する科目を含む)、外国語、スポーツ実技に分けるものとする。
- (2) 学科の基幹的科目については、専門科目の全授業を対象とする。
- (3) 研究科専攻の基幹的科目については、専門科目の全授業を対象とする。
- (4) その他、学科等が指定する追加又は除外の授業科目とする。

3 分析は、次の各号によるものとする。

- (1) 基幹的科目の全学共通評価項目の評価の全学の平均値
- (2) リエゾンゼミⅠ及び学科の基幹的科目の全学共通評価項目の評価の学科コースごとの平均値
- (3) 研究科専攻の基幹的科目の全学共通評価項目の評価の専攻分野ごとの平均値
- (4) その他、必要な分析

(授業評価等実施要項 20161010 追加改正案 ver5 より)

2016 年後期授業評価については、後期開設全科目を①～⑨の 9 カテゴリに分け、A～D の 4 種の授業評価項目(アンケート)を組み合わせる実施した。「④ 1. (4)の外国語科目」は、A 全学共通項目(実施 4)と D 外国語追加項目(実施 10)の両方を授業評価アンケートとして実施したことになる。

表 科目カテゴリと実施項目(アンケート)の関係

			授業評価項目(アンケート)の種類			
			A全学共通項目	B学外実習共通項目	C論文作成共通項目	D外国語追加項目
科目 カテ ゴリ	総合基礎教育(学部)	① 1. (1)リエゾンゼミⅠ	実施 1			
		② 1. (2)リベラルアーツ	実施 2			
		③ 1. (3)スポーツⅠ	実施 3			
		④ 1. (4)外国語	実施 4			実施10
	専門(学部)	⑤ 2. (1)共通科目	実施 5			
		⑥ 2. (2)演習科目	実施 6			
		⑦ 2. (3)論文作成科目			実施 9	
		⑧ 3. 学外実習科目		実施 8		
	専門(大学院)	⑨ 4. 大学院科目	実施 7			

*2016 年度後期に開講されたが回答率=0 だった科目はこの報告の対象科目から除外した。

●科目カテゴリについて

「② 1. (2)リベラルアーツ」とは、総合基礎教育科目から「リエゾンゼミⅠ」「スポーツⅠ」「外国語(英語、ハングル語、中国語、ドイツ語、日本語等)」を除いたすべての科目を合わせたカテゴリ(禅のこころ、〇〇入門、〇〇の基礎、福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ…)である。「⑤ 2(1)共通科目」はすべての学科等で開講されている専門科目から「⑥ 2. (2)演習科目(いわゆる“ゼミ(ナール)”)と「⑦ 2. (3)論文作成科目」「⑧ 3. 学外実習科目」を除いたものである。「⑧ 4. 大学院科目」は 2 研究科(総合福祉学、教育学)で開講された研究指導、演習、講義などすべての科目を含んでいる。

● 4 種の授業評価項目（アンケート）について

A 全学共通項目は、Ⅰ．基本属性（所属学科、学年、性別、履修目的・理由）、Ⅱ この授業へのあなた自身の取り組み方（4 項目）、Ⅲ この授業への教員の取り組み方（11 項目）、Ⅳ この授業（4 項目）、Ⅴ この授業を受けた結果（7 項目）、そしてⅥ 授業およびシラバスについて、良かった点、改善点（自由記述）、からなる。

B 学外実習共通項目は、Ⅰ．基本属性、Ⅱ．あなた自身の学外実習等への取り組み、Ⅲ．実習への本学教員および実習先の指導者の取り組み方、Ⅳ．実習を行った結果、Ⅴ．実習およびシラバスや実習の手引きまたは実習要項などについて、よかった点、改善してほしい点や要望、改善の提案（自由記述）、からなる。

C 論文作成共通項目は、Ⅰ．基本属性、Ⅱ．「論文作成」へのあなた自身の取り組み方、Ⅲ．「論文作成」への教員の取り組み方、Ⅳ．「論文作成」の結果について、よかった点、改善してほしい点や要望、改善の提案（自由記述）、からなる。

D 外国語追加項目は、「学んでいる言語に触れる機会を十分に与えていたか」「授業であまり重視されていないかったスキルは」「外国の文化や国際コミュニケーションへの関心は高まったか」「最も伸びたスキルは」など計 8 項目からなる。

なお、各評価項目の詳しい内容については、巻末の参考 1～3 を参照のこと。平均値で結果を表示する評価項目には、1～4 の選択肢があり、1 が低い評価、4 が高い評価を表し、2.5 が中間を意味する。

(1) 基幹的科目の全学共通項目の全学平均値

前頁の表の実施 1～6 の全科目の共通項目の合算結果を以下に示す。（のべ回答者数は 22,567 名）

Ⅰ．基本属性

	合計	社福コース	総福コース	社福コース未	社教コース	学教コース	福祉心理	福祉行政	産福	情福	幼保コース	小幼コース	小特コース	教育コース未	初等教育	中等教育	子ども	保健看護	リハ理学	リハ作業	医療経営
のべ履修者数	57960	8448	4101	5227	686	1486	5847	2795	4496	3949	1637	356	1537	2007	1849	1203	2862	3512	1869	1350	2743
のべ回答者数	22567	3293	1067	1639	285	502	2471	836	996	1076	1254	299	1069	814	1133	455	1538	1045	972	807	1016
のべ回答率(%)	38.9	39.0	26.0	31.4	41.5	33.8	42.3	29.9	22.2	27.2	76.6	84.0	69.6	40.6	61.3	37.8	53.7	29.8	52.0	59.8	37.0

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	修士 1 年	修士 2 年	博士 1 年	博士 2 年	博士 3 年	その他
のべ回答者数	9,563	6,686	4,880	1,407	8	7	3	1	3	9
%	42.4	29.6	21.6	6.2	0.04	0.03	0.01	0.00	0.01	0.04

履修目的・理由	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	13,422	7,468	2,626	3,047	1,506	670	2,363	1,221	1,434
%	39.8	22.1	7.8	9.0	4.5	2.0	7.0	3.6	4.2

* 「履修目的・理由」は複数回答のため、%の分母は「のべ回答者数の合計＝33,757 名」

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満	2)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	17,264	5,004	238	61	のべ回答者数	1,558	1,820	6,081	13,108
%	76.5	22.2	1.1	0.3	%	6.9	8.1	26.9	58.1

3) 「シラバス」 この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようとしたか。

4) 「学習意欲」 この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか。

は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3) 「シラバス」、4) 「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方(11 項目)、Ⅳ 授業について（4 項目）、Ⅴ この授業を受けた結果（7 項目）

3.14	3.28		3.32	3.37	3.44	3.40	3.37	3.28	3.39	3.51	3.39	3.36	3.41		3.59	3.62	3.41	3.45		3.34	3.28	3.37	3.32	3.28	3.30	3.36
シラバス	学習意欲		シラバス内容	シラバス展開	話し方	板書プレゼン	補助教材	質問	授業配慮	熱意	授業構成	授業方法	効果的教育		授業分量	授業ペース	わかりやすさ	深まり		内容理解	目標達成度	興味	知識・技能	学習経験	多角的見方	満足度
Ⅱ. 自身の取り組み方			Ⅲ. 授業への教員の取り組み方												Ⅳ. 授業について					Ⅴ. この授業を受けた結果						
3.14	3.28		3.32	3.37	3.44	3.40	3.37	3.28	3.39	3.51	3.39	3.36	3.41		3.59	3.62	3.41	3.45		3.34	3.28	3.37	3.32	3.28	3.30	3.36

【コメント】

・傾向は、前期とほぼ同じである。

・「履修目的・理由」について「必修の科目だった」「資格取得のため必要だった」の2選択肢で60%以上を超える。その一方で、「シラバスを読んで興味を持った」「授業科目名に関心を持った」がそれぞれ10%に満たない。

・「その他の全学共通評価項目」で、平均値が「3.3」に満たない項目は、

Ⅱ. あなた自身の取り組み方

3) 「シラバス」 この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようとしたか

4) 「学習意欲」 この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか

Ⅲ. 授業への教員の取り組み

6) 「質問」 学生が質問や意見を出しやすいように工夫を行い、質問に適切に応じていましたか

Ⅳ. この授業を受けた結果

2) 「目標達成度」 授業の到達目標が達成できた、または達成できそうですか

5) 「学習経験」 テーマについて自ら調べ、考え、行動する学修経験を積むことができましたかの5項目であった。

→・シラバスを学修について見通すために活用する工夫をする。

・学習内容・方法について、意欲的、主体的に取り組ませる（アクティブ・ラーニング）ための工夫をする。

・「授業後の感想（コメントペーパー等）」や「オフィスアワー」などを活用し、質問に対するフィードバックを授業中や EduTrack など積極的に行う。

こうした学生の主体的な学修を促進する工夫や環境づくりをすることによって、「目標達成度」や「学習経験」などへ好影響を与えることが期待できると思われる。

(2) 「リエゾンゼミ」の全学共通項目の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

リエゾンゼミ	社会福祉	福祉心理	福祉行政	産福マネジ	情福マネジ	教育学科初等	教育学科中等	保健看護	リハビリ学	リハ作業	医療経営
履修者数	426	150	117	121	82	250	52	83	67	49	61
回答者数	236	122	25	24	62	215	40	25	58	9	37
回答率(%)	55.4	81.3	21.4	19.8	75.6	86.0	76.9	30.1	86.6	18.4	60.7

履修目的・理由 リエゾンゼミ	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	847	35	8	5	4	1	10	11	7
%	91.3	3.8	0.9	0.5	0.4	0.1	1.1	1.2	0.8

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満	2)授業外学習(学修)時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	661	179	11	2	のべ回答者数	39	31	111	672
%	77.5	21.0	1.3	0.2	%	4.6	3.6	13.0	78.8

3) 「シラパス」この授業について理解するのに、シラパスを読んで役立てようとしたか。

4) 「学習意欲」この授業の学習(学修)に意欲的、主体的に取り組みましたか。

は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通項目(Ⅱ あなた自身の取り組み方 3)「シラパス」、4)「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方(11項目)、Ⅳ 授業について(4項目)、Ⅴ この授業を受けた結果(7項目))

2.93	3.19	3.28	3.33	3.53	3.40	3.36	3.33	3.39	3.43	3.35	3.33	3.40	3.76	3.81	3.51	3.42	3.43	3.34	3.29	3.28	3.39	3.28	3.32
シラパス	学習意欲	シラパス内容	シラパス展開	話し方	板書プレゼン	補助教材	質問	授業配慮	熱意	授業構成	授業方法	効果的教育	授業分量	授業ペース	わかりやすさ	深まり	内容理解	目標達成度	興味	知識技・態	学習経験	多角的見方	満足度
Ⅱ. 自身の取り組み方		Ⅲ. 授業への教員の取り組み方											Ⅳ. 授業について				Ⅴ. この授業を受けた結果						
2.93	3.19	3.28	3.33	3.53	3.40	3.36	3.33	3.39	3.43	3.35	3.33	3.40	3.76	3.81	3.51	3.42	3.43	3.34	3.29	3.28	3.39	3.28	3.32

(3) 「リベラルアーツ」の全学共通項目の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

リベラルアーツ	社福コース	総福コース	社福コース未	社教社教コース	社教学教コース	福祉心理	福祉行政	産福	情福	初等教育	中等教育	子ども	保健看護	リハビリ学	リハ作業	医療経営
のべ履修者数	383	314	1346	107	53	722	620	1007	879	1104	278	60	205	144	54	591
のべ回答者数	276	97	342	34	19	331	211	287	261	648	133	24	94	65	13	197
回答率(%)	72.1	30.9	25.4	31.8	35.8	45.8	34.0	28.5	29.7	58.7	47.8	40.0	45.9	45.1	24.1	33.3

学年	1年	2年	3年	4年	その他
のべ回答者数	2,465	277	215	74	1
%	81.3	9.1	7.1	2.4	0.03

履修目的・理由 リベラルアーツ	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	1,038	421	647	774	112	145	587	222	270
%	24.6	10.0	15.3	18.4	2.7	3.4	13.9	5.3	6.4

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満	2)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	2,313	678	29	12	のべ回答者数	142	156	577	2,157
%	76.3	22.4	1.0	0.4	%	4.7	5.1	19.0	71.1

3)「シラバス」この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようと思いましたか。

4)「学習意欲」この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか。

は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3)「シラバス」、4)「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方(11項目)、Ⅳ 授業について(4項目)、Ⅴ この授業を受けた結果(7項目))

3.05	3.20	3.27	3.32	3.41	3.35	3.29	3.11	3.34	3.43	3.32	3.26	3.33	3.58	3.56	3.37	3.39	3.29	3.25	3.30	3.27	3.19	3.24	3.30
シラバス	学習意欲	シラバス内容	シラバス展開	話し方	板書プレゼン	補助教材	質問	授業配慮	熱意	授業構成	授業方法	効果的教育	授業分量	授業ペース	わかりやすさ	深まり	内容理解	目標達成度	興味	知識・技能・態度	学習経験	多角的な見方	満足度
Ⅱ. 自身の取り組み方		Ⅲ. 授業への教員の取り組み方											Ⅳ. 授業について				Ⅴ. この授業を受けた結果						
3.05	3.20	3.27	3.32	3.41	3.35	3.29	3.11	3.34	3.43	3.32	3.26	3.33	3.58	3.56	3.37	3.39	3.29	3.25	3.30	3.27	3.19	3.24	3.30

(4)「スポーツⅠ」の全学共通評価項目評価の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

スポーツⅠ												学年				
社福	福祉心理	福祉行政	産福	情報福	初等教育	中等教育	保健看護	リハビリ学	リハ作業	医療経営		1年	2年	3年	4年	
のべ履修者数	430	152	116	124	107	250	51	83	66	48	84	のべ回答者数	589	3	2	1
のべ回答者数	162	76	41	43	41	112	16	36	19	13	36	%	99.0	0.5	0.3	0.2
回答率(%)	37.7	50.0	35.3	34.7	38.3	44.8	31.4	43.4	28.8	27.1	42.9					

履修目的・理由 スポーツⅠ	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	551	26	39	86	9	10	40	21	6
%	69.9	3.3	4.9	10.9	1.1	1.3	5.1	2.7	0.8

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満	2)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	483	103	5	4	のべ回答者数	42	26	71	456
%	81.2	17.3	0.8	0.7	%	7.1	4.4	11.9	76.6

3)「シラバス」この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようと思いましたか。

4)「学習意欲」この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか。

は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3)「シラバス」、4)「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方(11項目)、Ⅳ 授業について(4項目)、Ⅴ この授業を受けた結果(7項目))

3.08	3.48	3.47	3.47	3.58	3.44	3.46	3.49	3.50	3.65	3.54	3.51	3.59	3.81	3.80	3.70	3.68	3.67	3.59	3.58	3.56	3.50	3.50	3.62
シラバス	学習意欲	シラバス内容	シラバス展開	話し方	板書プレゼン	補助教材	質問	授業配慮	熱意	授業構成	授業方法	効果的教育	授業分量	授業ペース	わかりやすさ	深まり	内容理解	目標達成度	興味	知識・技能・態度	学習経験	多角的な見方	満足度
Ⅱ. 自身の取り組み方		Ⅲ. 授業への教員の取り組み方											Ⅳ. 授業について				Ⅴ. この授業を受けた結果						
3.08	3.48	3.47	3.47	3.58	3.44	3.46	3.49	3.50	3.65	3.54	3.51	3.59	3.81	3.80	3.70	3.68	3.67	3.59	3.58	3.56	3.50	3.50	3.62

(5)「共通科目」の全学共通評価項目評価の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

共通科目	社 福 コ ー ス	総 福 コ ー ス	社 福 コ ー ス 未	社 教 コ ー ス	学 教 コ ー ス	福 祉 心 理	福 祉 行 政	産 福	情 福	幼 保 コ ー ス	小 幼 コ ー ス	小 特 コ ー ス	教 育 コ ー ス 未	中 等 教 育	子 ど も	保 健 看 護	リ ハ 理 学	リ ハ 作 業	医 療 経 営
のべ履修者数	7146	3363	2599	509	1303	4153	1596	2711	2530	1546	332	1437	1757	695	2419	2770	1358	1028	1654
のべ回答者数	2673	851	755	226	446	1652	377	521	559	1201	282	1008	599	196	1300	739	716	633	627
回答率(%)	37.4	25.3	29.0	44.4	34.2	39.8	23.6	19.2	22.1	77.7	84.9	70.1	34.1	28.2	53.7	26.7	52.7	61.6	37.9

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	修 士 1 年	修 士 2 年	博 士 1 年	博 士 2 年	博 士 3 年	そ の 他
のべ回答者数	4,695	5,363	4,190	1,089	5	6	2	1	3	7
%	30.6	34.9	27.3	7.1	0.03	0.04	0.01	0.01	0.02	0.05

履修目的・理由 共通科目	必 修 科 目	資 格 取 得	シ ラ 興 味	科 目 名 関 心	担 当 教 員 関 心	勧 め ら れ た	時 間 割 都 合	学 び たい	役 立 つ
のべ回答者数	8,447	6,663	1,696	2,026	1,011	412	1,598	798	980
%	35.7	28.2	7.2	8.6	4.3	1.7	6.8	3.4	4.1

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満
のべ回答者数	11,933	3,239	154	35
%	77.7	21.1	1.0	0.2

2)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	1,081	1,324	4,375	8,581
%	7.0	8.6	28.5	55.9

3)「シラバス」この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようとしたか。

4)「学習意欲」この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか。

は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3)「シラバス」、4)「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方(11項目)、Ⅳ 授業について(4項目)、Ⅴ この授業を受けた結果(7項目))

3.20	3.32		3.36	3.41	3.47	3.43	3.41	3.30	3.41	3.55	3.42	3.39	3.44		3.61	3.65	3.43	3.48		3.36	3.30	3.40	3.35	3.30	3.33	3.38
シラバス	学習意欲		シラバス内容	シラバス展開	話し方	板書プレゼン	補助教材	質問	授業配慮	熱意	授業構成	授業方法	効果的教育		授業分量	授業ペース	わかりやすさ	深まり		内容理解	目標達成度	興味	知識技・態	学習経験	多角的見方	満足度
Ⅱ. 自身の取り組み方		Ⅲ. 授業への教員の取り組み方												Ⅳ. 授業について				Ⅴ. この授業を受けた結果								
3.20	3.32		3.36	3.41	3.47	3.43	3.41	3.30	3.41	3.55	3.42	3.39	3.44		3.61	3.65	3.43	3.48		3.36	3.30	3.40	3.35	3.30	3.33	3.38

(6)「演習科目」の全学共通評価項目評価の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

演習科目	社 福 コ ー ス	総 福 コ ー ス	社 教 コ ー ス	学 教 コ ー ス	福 祉 心 理	福 祉 行 政	産 福	情 福	幼 保 コ ー ス	小 幼 コ ー ス	小 特 コ ー ス	中 等 教 育	子 ど も	保 健 看 護	リ ハ 理 学	リ ハ 作 業	医 療 経 営
のべ履修者数	601	242	63	108	356	105	272	171	91	24	100	30	349	148	122	84	200
のべ回答者数	142	60	24	28	112	44	46	79	53	17	61	12	196	19	47	79	43
回答率(%)	23.6	24.8	38.1	25.9	31.5	41.9	16.9	46.2	58.2	70.8	61.0	40.0	56.2	12.8	38.5	94.0	21.5

学年	1年	2年	3年	4年	修士1年
のべ回答者数	0	421	413	225	3
%	0.0	39.6	38.9	21.2	0.28

履修目的・理由 演習科目	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	986	211	105	49	240	55	39	99	96
%	52.4	11.2	5.6	2.6	12.8	2.9	2.1	5.3	5.1

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満
のべ回答者数	861	191	7	3
%	81.1	18.0	0.7	0.3

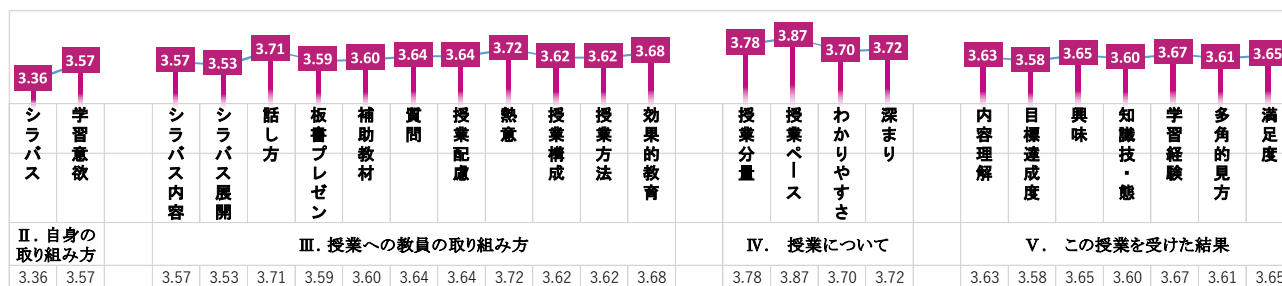
2)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	139	148	293	482
%	13.1	13.9	27.6	45.4

3) 「シラバス」 この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようとしたか。

4) 「学習意欲」 この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか。

は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3) 「シラバス」、4) 「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方(11項目)、Ⅳ 授業について(4項目)、Ⅴ この授業を受けた結果(7項目))



(7)「外国語」の全学共通項目の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

外国語	社福コース	総福コース	社福コース未	社教コース	学教コース	福祉心理	福祉行政	産福	情福	初等教育	中等教育	子ども	保健看護	リハ理学	リハ作業	医療経営
のべ履修者数	318	182	426	7	22	314	241	261	180	495	97	34	223	112	87	153
のべ回答者数	202	59	144	1	9	178	138	75	74	373	58	18	132	67	60	76
回答率(%)	63.5	32.4	33.8	14.3	40.9	56.7	57.3	28.7	41.1	75.4	59.8	52.9	59.2	59.8	69.0	49.7

学年	1年	2年	3年	4年	修士2年	博士1年	その他
のべ回答者数	964	622	58	17	1	1	1
%	57.9	37.4	3.5	1.0	0.06	0.06	0.06

履修目的・理由 外国語	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	1,553	112	131	107	130	47	89	70	75
%	67.1	4.8	5.7	4.6	5.6	2.0	3.8	3.0	3.2

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

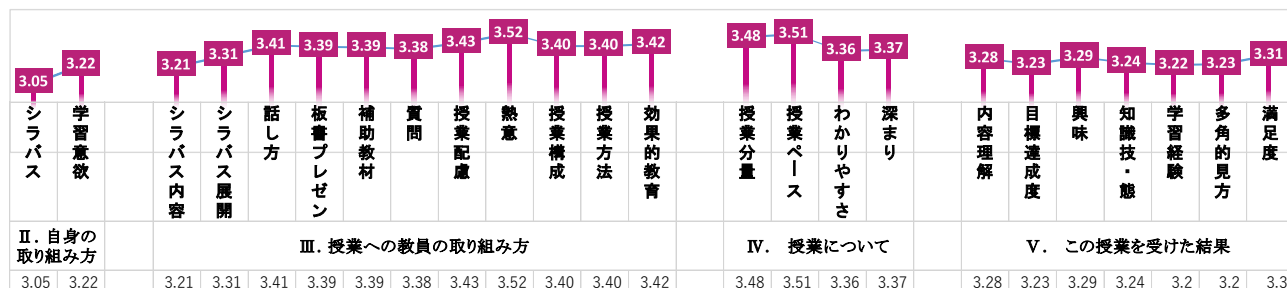
1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満
のべ回答者数	1,013	614	32	5
%	60.9	36.9	1.9	0.3

2)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	115	135	654	760
%	6.9	8.1	39.3	45.7

3) 「シラバス」 この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようとしたか。

4) 「学習意欲」この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか。
は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3)「シラバス」、4)「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方(11 項目)、Ⅳ 授業について(4 項目)、Ⅴ この授業を受けた結果(7 項目))



(8)「学外実習科目」項目の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

学外実習科目	社福コース	総福コース	社教コース	学教コース	福祉心理	産福	初等教育	中等教育	子ども	保健看護	リハビリ学	リハビリ作業	医療経営
のべ履修者数	278	44	3	128	100	3	179	3	380	315	42	131	42
のべ回答者数	46	12	3	20	26	2	132	3	101	69	32	75	5
回答率(%)	16.5	27.3	100.0	15.6	26.0	66.7	73.7	100.0	26.6	21.9	76.2	57.3	11.9

学年	1年	2年	3年	4年
のべ回答者数	210	27	214	75
%	39.9	5.1	40.7	14.3

履修目的・理由 学外実習科目	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	331	241	107	70	22	12	24	72	70
%	34.9	25.4	11.3	7.4	2.3	1.3	2.5	7.6	7.4

Ⅱ. あなた自身の学外実習等への取り組み

2)現時点での出席率	100%~90%	89%~70%	69%~50%	50%未満	3)授業外学習(学修)時間	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満
のべ回答者数	514	12	0	0		192	110	124	100
%	97.7	2.3	0.0	0.0		36.5	20.9	23.6	19.0

1)「授業外学習」実習前の事前学習や模擬練習は十分でしたか

4)「要項理解」この実習の目的と目標について、シラバスおよび実習の手引きまたは実習要項などにより理解して参加しましたか

5)「意欲主体」この実習に意欲的、主体的に取り組みましたか

6)「マナー」この実習におけるマナー・規則や職業上の倫理・行動指針を理解し、守るように取り組みましたか
は次のグラフに含める。

Ⅲ) その他の学外実習項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 1)「授業外学習」4)「要項理解」5)「意欲主体」6)「マナー」、Ⅲ 実習への教員および実習先の指導者の取り組み方(10 項目)、Ⅳ. 学外実習等後の結果(10 項目))

3.61	3.63	3.77	3.82		3.60	3.67	3.72	3.75	3.64	3.70	3.77	3.69	3.78	3.71		3.72	3.53	3.76	3.61	3.74	3.58	3.61	3.60	3.68	3.74
授業前学習	要項理解	意欲主体	マナー		シラバス	事前指導	実習先オリエ	実習先指導	教員指導	意見交換	実習先熱意	実習環境	実習先評価	教員評価		業務理解	目標達成度	興味関心	知識・ 態	学修経験	多角柔軟	利用者関係	スタッフ関係	具体的理解	満足度
Ⅱ. 自身の取り組み方					Ⅲ. 学外実習等への指導者・教員の取り組み											Ⅳ. 学外実習等後の結果									
3.61	3.63	3.768	3.817		3.60	3.67	3.72	3.75	3.64	3.70	3.77	3.69	3.78	3.71		3.72	3.53	3.76	3.61	3.74	3.58	3.61	3.60	3.68	3.7

(9)「論文作成科目」項目の全学平均値

Ⅰ. 基本属性

論文作成科目	福祉心理	情報福祉	子ども教育	保健看護学科	リハビリ理学	医療経営	修士福祉学	修士福祉学	修士教育学
のべ履修者数	1	33	22	72	13	1	3	9	9
のべ回答者数	1	13	5	1	1	1	1	3	5
回答率(%)	100.0	39.4	22.7	1.4	7.7	100.0	33.3	33.3	55.6

学年	学部4年	修士1年	修士2年
のべ回答者数	22	6	3
%	71.0	19.4	9.7

履修目的・理由 論文作成科目	学位取得	大学院進学	研究興味	学び総括	将来役立	勧められ	教員関心	シラバス
のべ回答者数	26	0	5	8	10	2	10	2
%	41.3	0.0	7.9	12.7	15.9	3.2	15.9	3.2

Ⅱ 「論文作成」へのあなた自身の取り組み方

1)個人面談	20回以上	20回未満	10回未満	ほとんどしなかった
のべ回答者数	15	7	7	2
%	48.4	22.6	22.6	6.5

- 2)「質問」論文を書き上げる途中で抱える課題について、仲間や指導教員に積極的に質問や相談をしましたか。
- 3)「意欲」「論文作成」にかかわる学習(学修)を進めるにあたり、総じて自分なりに意欲的、主体的に取り組みましたか。
- は、次のグラフに含める。

Ⅲ その他の「論文作成科目」項目(Ⅱ あなた自身の取り組み方 2)「質問」3)「意欲」、Ⅲ.「論文作成」へ教員の取り組み方(6項目)、Ⅳ.「論文作成」の結果(6項目))

3.58	3.61	3.61	3.84	3.87	3.68	3.39	3.74	3.68	3.39	3.68	3.68	3.58	3.61
質問	意欲	紹介	アドバイス	熱意	評価	集団指導	総合指導	内容理解	目標達成度	興味	学習経験	創造的思考	満足度
Ⅱ. 自身の取り組み方		Ⅲ. 「論文作成」への教員の取り組み方						Ⅳ. 「論文作成」の結果					
3.58	3.61	3.61	3.84	3.87	3.68	3.39	3.74	3.68	3.39	3.68	3.68	3.58	3.61

(10) 大学院研究科専攻等の基幹的科目の全学共通項目の全大学院平均値

I. 基本属性

大学院科目	修士 社福 コース	修士 児福 コース	修士 福祉 心理	修士 臨床 心理	修士 教育学
のべ履修者数	16	3	9	60	38
のべ回答者数	8	1	6	29	22
回答率	50.0	33.3	66.7	48.3	57.9

学年	修士 1 年	修士 2 年	博士 1 年
のべ回答者数	38	27	1
%	57.6	40.9	1.5

履修目的・理由 大学院科目	必修 科目	資格 取得	シラ 興味	科目 名関 心	担当 教員 関心	勧め られ た	時間 割都 合	学び たい	役立 つ
のべ回答者数	41	34	9	17	20	8	2	6	12
%	27.5	22.8	6.0	11.4	13.4	5.4	1.3	4.0	8.1

Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

2)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満	3)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	48	16	1	1	のべ回答者数	6	19	29	12
%	72.7	24.2	1.5	1.5	%	9.1	28.8	43.9	18.2

Ⅲ その他の全学共通項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3）「シラバス」、4）「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方（11 項目）、Ⅳ 授業について（4 項目）、Ⅴ この授業を受けた結果（7 項目）

	3.14	3.42					3.50	3.38	3.70	3.59	3.56	3.67	3.67	3.80	3.58	3.67	3.68				3.71	3.86	3.64	3.73				3.53	3.27	3.65	3.39	3.62	3.52	3.64			
	シラバス	学習意欲					シラバス内容	シラバス展開	話し方	板書・プレゼン	補助教材	質問	授業配慮	熱意	授業構成	授業方法	効果的教育				授業分量	授業ベース	わかりやすさ	深まり				内容理解	目標達成度	興味	知識・技能	学習経験	多角的見方	満足度			
Ⅱ. 自身の取り組み方			Ⅲ. 授業への教員の取り組み方																					Ⅳ. 授業について				Ⅴ. この授業を受けた結果									

上述の、(2)「リエゾンゼミⅠ」 (3)「リベラルアーツ」 (4)「スポーツⅠ」 (5)「共通科目」 (6)「演習科目」 (7)「外国語」 (8)「学外実習科目」 (9)「論文作成科目」 (10)大学院研究科専攻等の基幹的科目の全学共通項目についての「学科等別結果」は、資料の PDF ファイルに表としてまとめてあります。必要な場合は、ご覧ください。

参考1 授業評価アンケートの全学共通項目（「」内は略記）

I 基本属性

1) 所属学部学科・研究科専攻分野

（社会福祉学科社会福祉コース、社会福祉学科総合福祉コース、社会福祉学科コース未決定、社会教育学科社会教育コース、社会教育学科学校教育コース、福祉心理学科、福祉行政学科、産福マネジメント学科、情福マネジメント学科、教育学科初等教育専攻幼保コース、教育学科初等教育専攻小幼コース、教育学科初等教育専攻小特コース、教育学部初等教育専攻コース未決定、教育学科中等教育専攻、子ども教育学科、保健看護学科、リハビリテーション学科理学療法学専攻、リハビリテーション学科作業療法学専攻、医療経営管理学科、その他の学部授業の受講学生、総合福祉学研究科博士社会福祉学専攻総合福祉学研究科修士社会福祉学専攻社会福祉学コース、総合福祉学研究科修士社会福祉学専攻児童福祉学コース、総合福祉学研究科修士福祉心理学専攻福祉心理学分野、総合福祉学研究科修士福祉心理学

専攻臨床心理学分野、教育学研究科修士教育学専攻、その他の大学院授業の受講学生)

2) 学年 (1年・2年・3年・4年・修士1年・修士2年・博士1年・博士2年・博士3年・その他)

3) この授業の履修の目的・理由について(あてはまるものすべてを選んでください)

- ① 必修の科目だった ② 資格取得のため必要だった ③ シラバスを読んで興味を持った
 ④ 授業科目名に関心を持った ⑤ 担当教員(教育、研究、人柄など)に関心を持った ⑥ 教員、先輩、友人などから勧められた ⑦ 時間割の都合で履修可能な授業科目だった ⑧ 大学で学びたいまたは取り組みたいと思った ⑨ 卒業後や将来、役立つまたは必要と思った ⑩ その他(その他の場合は、その目的・理由を下記の自由記述欄に記入してください。)

Ⅱ この授業へのあなた自身の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか?

1) 授業全体を通じての現時点での出席率ほどの程度ですか。

- ④ 100%～90% ③ 89%～70% ② 69%～50% ① 50%未満

(70%未満の場合は、その理由を下記の自由記述欄に記入してください。)

2) この授業に関連して、1週間に平均して授業時間外(事前、事後)に学習(学修)した時間はどのくらいでしたか。

- ④ 3時間以上 ③ 2～3時間 ② 1～2時間 ① 1時間未満

3) 「シラバス」この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようとしたか。

- ④ とても役立てようとした ③ ある程度役立てようとした ② あまり役立てようとしなかった ① 全く役立てようとしなかった

4) 「学習意欲」この授業の学習(学修)に意欲的、主体的に取り組みましたか(テーマや問題意識を持って聴く、課題に対して積極的に取り組む、質問する、ディスカッションやワークがある場合は積極的に参加するなど)。

- ④ とても意欲的だった ③ ある程度意欲的だった ② あまり意欲的でなかった ① 全く意欲的でなかった

Ⅲ この授業への教員の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか?

1) 「シラバス内容」シラバスの内容は、学生の身になって具体的にわかりやすく書かれていましたか。

- ④ とてもわかりやすかった ③ ある程度わかりやすかった ② 少しわかりにくかった ① 全くわかりにくかった

2) 「シラバス展開」授業の内容と方法は、シラバスの「授業の内容」「授業の方法」に沿っていましたか。('授業の内容'は'授業計画(テーマと内容等)')とは別です。)

- ④ とても沿っていた ③ ある程度沿っていた ② あまり沿っていなかった ① 全く沿っていなかった

3) 「話し方」教員の話し方や声の大きさは、明瞭ではっきりとしており、聞き取りやすかったですか。

- ④ とても聞き取りやすかった ③ ある程度聞き取りやすかった ② 少し聞き取りにくかった ① 全く聞き取れなかった

4) 「板書プレゼン」教育支援機器を活用して学習内容の視覚化や“見える化”を適切に行っていましたか(板書またはパワーポイントなどのプレゼンテーション用ソフト、視聴覚教育機器、情報通信機器、EduTrackなど)。

- ④ とても適切だった ③ ある程度適切だった ② あまり適切でなかった ① 全く適切でなかった

5) 「補助教材」授業の理解を助け深めるのに、講義・演習・実験などでは適切な補助教材(視聴覚教材や資料、事例など)を、実技・演習・実験などでは適切な指導(視聴覚教材や模範例・模範演技、実演、ロールプレイ、シミュレーション体験など)を用いていましたか。

- ④ とても用いていた ③ ある程度用いていた ② あまり用いていなかった ① 全く

用いていなかった

6) 「質問」 学生が質問や意見を出しやすいように工夫を行い、質問に適切に応じていましたか（質問の促し、ペアワーク・グループワークによる質問・感想の共有、コメントシート・EduTrack の質問掲示板・非公開 Q&A・オフィスアワーの利用など）。

④ とても質問しやすかった ③ ある程度質問しやすかった ② あまり用いていなかった
① 全く用いていなかった

7) 「授業配慮」 授業を進める上で、教室の広さや空調、教室移動時間、実習期間などに応じた配慮を行っていましたか（板書の字の大きさ、終了時間の厳守、補講、eラーニングなど）。

④ とても配慮があった ③ ある程度配慮があった ② あまり配慮がなかった ① 全く配慮がなかった

8) 「熱意」 授業への熱意や意欲が感じられましたか。

④ とても感じられた ③ ある程度感じられた ② あまり感じられなかった ① 全く感じられなかった

9) 「授業構成」 適切な授業構成を行っていましたか（講義では導入：前回の復習、ねらい、例示、問題提起など、展開：仮説検証、事例・事例、異なる知見・最新知見など、まとめ：結論、次回の予告など、演習では課題設定、問題発見解決・体験・実践、発表・報告など、実技ではウォーミングアップ、インストラクション、エクササイズ、振り返りやシェアリングなど、実習では事前学習、観察・傾聴、実践、考察など、実験では実験、データ解析、レポート作成など）。

④ とても行っていた ③ ある程度行っていた ② あまり行っていなかった ① 全く行っていなかった

10) 「授業方法」 学習効果を高めるための授業方法の工夫（学生と教員の対面型授業や双方向授業、思考過程の“見える化”や共有化、主体的な学習など）や授業の改善に関する学生の意見などを取り入れていましたか。

④ とても取り入れていた ③ ある程度取り入れていた ② あまり取り入れていなかった
① 全く取り入れていなかった

11) 「効果的教育」 総合的に考えて、教員の教え方や姿勢は学習者にとって効果的でしたか。

④ とても効果的だった ③ ある程度効果的だった ② あまり効果的でなかった
① 全く効果的でなかった

IV この授業について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1) 「授業分量」 授業の分量は適切でしたか。

④ ちょうどよかった ③ 十分こなせたが、少なすぎた ② こなせたが、多すぎた
① 全くこなせきれないほど、多すぎた

2) 「授業ペース」 授業の進行ペースは適切でしたか。

④ ちょうどよかった ③ 十分ついていけたが、遅すぎた ② ついていけたが、速すぎた
① 全くついていけないほど、速すぎた

3) 「わかりやすさ」 授業はわかりやすかったですか。

④ とてもわかりやすかった ③ ある程度わかりやすかった ② 少しわかりにくかった
① 全くわかりにくかった

4) 「深まり」 授業は深まりがありましたか。

④ とても深まりがあった ③ ある程度深まりがあった ② あまり深まりがなかった
① 教科書を読む程度で全く深まりがなかった

V この授業を受けた結果について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1) 「内容理解」 授業の内容がよく理解できましたか。

- ④ とてもよく理解できた ③ ある程度理解できた ② あまり理解できなかった
① 全く理解できなかった

2) 「目標達成度」授業の到達目標が達成できた、または達成できそうですか。

- ④ とてもよく達成できた ③ ある程度達成できた ② あまり達成できなかった
① 全く達成できなかった

3) 「興味」授業の内容に対して興味や関心が喚起されましたか。

- ④ とてもよく喚起された ③ ある程度喚起された ② あまり喚起されなかった
① 全く喚起されなかった

4) 「知能技・態」教養あるいは専門の知識や技能、態度を身に付けることができましたか。

- ④ とてもよく身に付けることができた ③ ある程度身に付けることができた
② あまり身に付けることができなかった ① 全く身に付けることができなかった

5) 「学習経験」テーマについて自ら調べ（文献、実地調査、関係者の意見聴取など）、考え、行動する学修経験を積むことができましたか。

- ④ とてもよく経験を積むことができた ③ ある程度経験を積むことができた
② あまり経験を積むことができなかった ① 全く経験を積むことができなかった

6) 「多角的見方」ものごとを多角的に考え、新たな見方や柔軟な発想などができるようになりましたか。

- ④ とてもよくできるようになった ③ ある程度できるようになった
② あまりできるようにならなかった ① 全くできるようにならなかった

7) 「満足度」総合的に考えて、この授業は自分にとって有意義で満足できるものでしたか。

- ④ 非常に満足できるものだった ③ ある程度満足できるものだった
② あまり満足できるものではなかった ① 全く満足できるものではなかった

VI この授業およびこの授業のシラバスについて、良かった点、改善してほしい点や要望があれば、ご意見をお聞かせ下さい。

よかった点

改善してほしい点や要望、改善策の提案など

参考2 「外国語科目」において追加された授業評価項目（「」内は略記）

●Ⅲに追加

6) 「言語機会」授業中、教員は視聴覚教材や口頭での指導などにおいて、学んでいる言語に触れる機会を十分に与えていましたか。

- ④ 十分に与えていた ③ ある程度与えていた ② あまり与えていなかった
① 全く与えていなかった

7) 「言語やりとり」授業では学んでいる言語を使ってコミュニケーションを取る機会（教員と学生および学生同士の音声による会話や文字などによるやりとり）がありましたか。

- ④ 十分にあった ③ ある程度あった ② あまりなかった ① 全くなかった

●Ⅳに追加

5) 「教材理解度」教材(教科書・プリント等)の難易度はおおむね適切で、理解でき、役に立つ内容でしたか。

- ④ とても理解でき役に立った ③ ある程度理解でき役に立った
② あまり理解できず役に立たなかった ① 全く理解できず役に立たなかった

6) 「未重視スキル」授業であまり重視されていなかったのは以下のどのスキルでしたか。

- ① Speaking ② Listening ③ Reading ④ Writing

●Vに追加

- 2)「**予復習効果**」予習・復習の課題は語学のスキルを高めるのに役に立ちましたか。
 ④ とても役に立った ③ ある程度役に立った ② あまり役に立たなかった
 ① 全く役に立たなかった
- 5)「**外国関心**」この授業を通じて、外国語への関心だけではなく、外国の文化や国際コミュニケーションへの関心が喚起されましたか。
 ④ とてもよく喚起された ③ ある程度喚起された ② あまり喚起されなかった
 ① 全く喚起されなかった
- 7)「**学習方略**」受講後にも役に立つ語学学習の方略や学習方法、考え方について学ぶことができましたか。
 ④ とても学ぶことができた ③ ある程度学ぶことができた
 ② あまり学ぶことができなかった ① 全く学ぶことができなかった
- 10)「**伸張スキル**」授業を通じて、最も伸びたスキルはどれでしたか。
 ① Speaking ② Listening ③ Reading ④ Writing

参考3 「学外実習科目」の授業評価アンケートに使用した項目（「」内は略記）

I 基本属性

授業評価アンケートの全学共通項目と同じ

II. あなた自身の学外実習等への取り組みについて、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

- 1)「**授業外学習**」実習前の事前学習や模擬練習は十分でしたか。
 ④十分に行った ③ある程度行った ②あまり行わなかった ①全く行わなかった
- 2)「**現時点出席率**」実習全体を通じての出席率はどのくらいでしたか。
 ④100%～90% ③89%～70% ②69%～50% ①50%未満 （70%未満の場合は、その理由を下記の自由記述欄に記入してください。）
- 3)「**実習外学習**」この実習に関連して、1日に平均して実習時間外（事前、事後）に学習（学修）した時間はどのくらいでしたか。
 ④3時間以上 ③2～3時間 ②1～2時間 ①1時間未満
- 4)「**要項理解**」この実習の目的と目標について、シラバスおよび実習の手引きまたは実習要項などにより理解して参加しましたか。
 ④とてもよく理解して参加した ③ある程度理解して参加した ②あまり理解せずに参加した
 ①全く理解せずに参加した
- 5)「**意欲主体**」この実習に意欲的、主体的に取り組みましたか（テーマや問題意識を持って臨む、課題に対して積極的に取り組む、質問するなど）。
 ④とても意欲的だった ③ある程度意欲的だった ②あまり意欲的でなかった ①全く意欲的でなかった
- 6)「**マナー**」この実習におけるマナー・規則や職業上の倫理・行動指針を理解し、守るように取り組みましたか。
 ④とてもよく取り組んだ ③ある程度取り組んだ ②あまり取り組まなかった ①全く取り組まなかった

III) この実習への本学教員および実習先の指導者の取り組み方について、以下の項目にどの程度当ては

まりますか。この実習に該当する項目又は教員の指示があった場合はその指示に従って回答してください。

1)「**シラバス**」シラバスおよび実習の手引きまたは実習要項などの内容は、学生の身になって具体的にわかりやすく書かれていましたか。

④とてもわかりやすかった ③ある程度わかりやすかった ②少しわかりにくかった ①全くわかりにくかった

2)「**事前指導**」実習前の本学教員によるオリエンテーションや事前指導は実習において役立ちましたか

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

3)「**実習先オリエ**」実習開始時の実習先の指導者によるオリエンテーションは実習を進めるにあたって、役立ちましたか。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

4)「**実習先指導**」実習期間中、実習先の指導者による指導内容は、適切でしたか。

④とても適切だった ③ある程度適切だった ②あまり適切でなかった ①全く適切でなかった

5)「**教員指導**」実習期間中、本学教員による巡回指導／実習地訪問や実習指導は、実習を円滑に進めるにあたって、役立ちましたか。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

6)「**意見交換**」実習期間中、実習先の指導者との意見交換は十分行われましたか。

④とてもよく行われていた ③ある程度行われていた ②あまり行われていなかった ①全く行われていなかった

7)「**実習先熱意**」実習全般を通じて、実習先の指導者の熱意や学生への意欲が感じられましたか。

④とても感じられた ③ある程度感じられた ②あまり感じられなかった ①全く感じられなかった

8)「**実習環境**」実習を進めるにあたって、施設内／園内・校内／病院内の実習環境、通勤／宿泊の環境などに応じた配慮はされていましたか。

④とても配慮されていた ③ある程度配慮されていた ②あまり配慮されていなかった ①全く配慮されていなかった

9)「**実習先評価**」実習終了時、実習先の指導者からの評価や指導・助言は役立ちましたか。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

10)「**教員評価**」実習終了後、本学教員からの評価や指導・助言は役立ちましたか（報告・発表や事後指導などにおいて）。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

IV. この実習を行った結果について、以下の項目にどの程度当てはまりますか。

1)「**業務理解**」実習の内容とその業務がよく理解できましたか。

④とてもよく理解できた ③ある程度理解できた ②あまり理解できなかった ①全く理解できなかった

2)「**目標達成度**」この実習の到達目標が達成できましたか、または達成できそうですか。

④とてもよく達成できた（できそう） ③ある程度達成できた（できそう） ②あまり達成できなかった（できそうにない） ①全く達成できなかった（できそうにない）

3)「**興味関心**」この実習により、実習の内容やその業務への興味や関心が喚起されましたか。

④とてもよく喚起された ③ある程度喚起された ②あまり喚起されなかった ①全く喚起されなかった

4)「**知識技・態**」この実習により、専門の知識や技能、態度を身に付けることができましたか。

④とてもよく身に付けた ③ある程度身に付けた ②あまり身に付けることができなかった
①全く身に付けることができなかった

5)「**学修経験**」課題について、事前学習、観察・傾聴、参加、実践、考察する学修経験を積むことができましたか。

④とてもよく経験できた ③ある程度経験できた ②あまり経験できなかった ①全く経験できなかった

6)「**多角柔軟**」ものごとを多角的に考え、新たな見方や柔軟な発想などができるようになりましたか。

④とてもよくできるようになった ③ある程度できるようになった ②あまりできるようにならなかった ①全くできるようにならなかった

7)「**利用者関係**」この実習において、利用者やその家族／園児・児童・生徒や保護者／担当症例やその家族と良好な関係を築けましたか。

④とてもよく築けた ③ある程度築けた ②あまり築けなかった ①全く築けなかった

8)「**スタッフ関係**」この実習において、実習先の指導者や関係する職員／教員／スタッフと良好な関係を築けましたか。

④とてもよく築けた ③ある程度築けた ②あまり築けなかった ①全く築けなかった

9)「**具体的理解**」指導を受けた内容を具体的に実施できるように理解し、受け入れることができましたか。

④とてもよくできた ③ある程度できた ②あまりできなかった ①全くできなかった

10)「**満足度**」総合的に考えて、この実習は自分にとって有意義で満足できるものでしたか。

④非常満足できるものだった ③ある程度満足できるものだった ②あまり満足できるものではなかった ①全く満足できるものではなかった

V. この実習における本学教員の関わりおよび実習のシラバスや実習の手引きまたは実習要項などについて、よかった点、改善してほしい点や要望、改善の提案などがあれば、ご意見を聞かせてください(自由記述)。

よかった点

改善してほしい点や要望、改善策の提案など

参考4 「論文作成科目」の授業評価アンケートに使用した項目（「」内は略記）

I 基本属性

1) 所属学部学科・研究科専攻分野

2) 学年

3)「論文作成」を履修した目的・理由について（あてはまるものすべてを選んでください）（その他の場合は、その目的・理由を下記の自由記述欄に記入してください。）

（卒業・修了・学位取得のため必要だった、大学院進学のため必要だった、研究に興味を持った、大学での学びの総括として取り組みたいと思った、論文作成の経験は、将来、役立つまたは必要と思った教員、先輩、友人などから勧められた、担当教員（研究内容や研究姿勢など）に関心を持った、シラバスを読んで興味を持った、その他(入力欄)）

II 「論文作成」へのあなた自身の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1)「**個人面談**」論文作成に関連して、今年度に担当教員とどのくらい個別の面談（メールや Edu Track などネット上での話し合いや指導も含める）を行いましたか。

④20 回以上 ③20 回未満 ②10 回未満 ①ほとんどしなかった

2)「**質問**」論文を書き上げる途中で抱える課題（文献や論文や資料を読んでわからないこと、研究の方法や分析の方法、計測機器等の使い方等でわからないことを含む）について、仲間や指導教員に積極的

に質問や相談をしましたか。

④とてもよくした ③ある程度した ②あまりしなかった ①全くしなかった

3)「意欲」「論文作成」にかかわる学習(学修)を進めるにあたり、総じて自分なりに意欲的、主体的に取り組みましたか。

④とても意欲・主体的だった ③ある程度意欲・主体的だった ②あまり意欲・主体的でなかった ①全く意欲・主体的でなかった

Ⅲ.「論文作成」への教員の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1)「紹介」「論文作成」に関連した文献や論文や資料(調べる方法や入手先、専門家などを含む)を、指導教員から紹介されましたか。

④とてもよく紹介された ③ある程度紹介された ②あまり紹介されなかった ①全く紹介されなかった

2)「アドバイス」「論文作成」の学習(学修)意欲を高めたり、研究(計画・実施・内容・方法等)の理解を深めたり、論文作成に参考になったりする言葉がけやアドバイスがありましたか。

④とてもあった ③ある程度あった ②あまりなかった ①全くなかった

3)「熱意」指導担当教員に対して教える熱意や誠意が感じられましたか。

④とても感じた ③ある程度感じた ②あまり感じられなかった ①全く感じられなかった

4)「評価」「論文作成」の評価の視点・方法は明確に示されていましたか。

④とても明確だった ③ある程度明確だった ②あまり明確でなかった ①全く明確でなかった

5)「集団指導」「論文作成」の学習(学修)を進めるにあたり、個別ではなく集団(学科・専攻・分野・ゼミなど)での指導(構想発表会、中間発表会、論文発表会など)は、今年度どのくらい行われましたか。

④6回以上行われた ③3~5回は行われた ②1, 2回は行われた ①まったく行われなかった

6)「総合指導」「論文作成」の学習(学修)を進めるにあたり、総じて担当教員の指導内容や方法は効果的でしたか。

④とても効果的だった ③ある程度効果的だった ②あまり効果的でなかった ①全く効果的でなかった

Ⅳ.「論文作成」の結果について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1)「内容理解」「論文作成」で取り組んだ内容に対する理解が深まりましたか。

④とても理解が深まった ③ある程度理解が深まった ②あまり理解が深まらなかった ①全く理解が深まらなかった

2)「目標達成度」「論文作成」の到達目標が達成できた、または達成できそうですか。(※到達目標について不明の際はシラバスをご覧ください)

④とてもよく達成できた ③ある程度達成できた ②あまり達成できなかった ①全く達成できなかった

3)「興味」「論文作成」の学習(学修)過程(テーマの設定、分析、考察、まとめ、発表等)に対して興味や関心が喚起されましたか。

④とてもよく喚起された ③ある程度喚起された ②あまり喚起されなかった ①全く喚起されなかった

4)「学習経験」テーマについて自ら調べる(文献、実地調査、関係者の意見聴取など)、研究計画を立てる、論理的に考える(仮説を検証する)、研究倫理に配慮する、論文作成過程を振り返り課題を見いだす等の学習(学修)経験を積むことができましたか。

④とてもよく経験を積むことができた ③ある程度経験を積むことができた ②あまり経験を積むことができなかった ①全く経験を積むことができなかった

5) 「**創造的思考**」自らが立てた新たな課題にそれまでの経験からの学びを生かして取り組み、その課題解決に向けた新しい知見や方策を考えることができるようになりましたか。

④とてもよくできるようになった ③ある程度できるようになった ②あまりできるようにならなかった ①全くできるようにならなかった

6) 「**満足度**」総合的に考えて、「論文作成」は自分にとって有意義で満足できるものでしたか。

④非常に満足できるものだった ③ある程度満足できるものだった ②あまり満足できるものではなかった ①全く満足できるものではなかった

VI 「論文作成」および「論文作成」のシラバスについて、良かった点、改善して欲しい点があれば、ご意見をお聞かせください。

よかった点(入力欄)

改善してほしい点や要望、改善策の提案など(入力欄)